

# 治験・臨床試験ってナニ？ 薬が手元に届くまで！

治験や臨床試験と聞くと、あまり馴染みのない方の中には人体実験やモルモットといったイメージを抱いてしまう方もいるかもしれません。しかし医療の現場における治験や臨床試験では、十分な説明と同意のもと、患者様のメリットを考え倫理面に配慮した治験デザインがなされています。また、治験や臨床試験で効果を確認することで、その後多くの患者様が有効な治療を受けられることになります。本講座では、このような治験・臨床試験の必要性をお伝えし、さらに精神科、泌尿器科を専門とする教員から各分野の新しい薬や治験評価プロセスに関する説明と、現在本学で行われている治験を紹介します。



《日時》 **9月11日(土)・10月2日(土)**  
**13:00~15:00**

《受講方法》 **オンライン**  
(Web会議システム「Zoom」による配信)

《対象》 **どなたでも**      《受講料》 **無料**

《申込方法》 **本学ホームページ内**  
**「公開講座お申し込み」フォームにて受付**



第1回 9月11日(土)

『治験ってどんなことするの?』

医学部附属病院 臨床研究支援センター

臨床試験コーディネーター 三浦 操

『最新の睡眠薬と秋田大の治験紹介』

医学部 医学科 精神科学講座

教授 三島 和夫

第2回 10月2日(土)

『臨床試験ってどんなときにするの?』

医学部附属病院 臨床研究支援センター

臨床試験コーディネーター 高橋 さおり

『最新の泌尿器領域の

治療薬と秋田大の治験・臨床研究紹介』

医学部 医学科 腎泌尿器科学講座

准教授 成田 伸太郎

《申込締切日》 **9月9日(木)**



秋田大学

お申込み・お問い合わせ

地方創生・研究推進課 TEL: 018-889-2270

秋田大学 HP: <https://www.akita-u.ac.jp/honbu/>

「公開講座お申し込み」  
フォームはこちら



# 治験・臨床試験ってナニ？ 薬が手元に届くまで！

## 第1回

9月11日(土)

講師

秋田大学医学部附属病院  
臨床研究支援センター  
臨床試験コーディネーター  
三浦 操

秋田大学医学部  
医学科 精神科学講座  
教授 三島 和夫

### ● 『治験ってどんなことするの？』

新しいお薬はいくつもの試験を経て、誕生しています。これらの試験は効き目や副作用を慎重に確認しながら、たくさんの方々のご理解とご協力を得て行われています。お薬が誕生するまでの流れについてご紹介します。

### ● 『最新の睡眠薬と秋田大の治験紹介』

成人の約5%の方が医療機関から処方された睡眠薬を服用しています。“睡眠薬は怖い”という心配を払拭し、安全安心に服用していただける睡眠薬の開発についてご紹介します。

## 第2回

10月2日(土)

講師

秋田大学医学部附属病院  
臨床研究支援センター  
臨床試験コーディネーター  
高橋 さおり

秋田大学医学部  
医学科 腎泌尿器科学講座  
准教授 成田 伸太郎

### ● 『臨床研究ってどんなときにするの？』

臨床研究は、より良い治療法や診断法などを開発するために患者さんや健康な方にご協力をいただき行われています。新薬や既存薬の新たな効果などを調査するため、安全性を確認しながら進めていきます。最善を待ち望む多くの患者さんに希望を届けられるよう行われる臨床研究についてご説明させていただきます。

### ● 『最新の泌尿器領域の治療薬と 秋田大の治験・臨床研究紹介』

がん治療には日々たくさんの新規治療薬が登場しています。泌尿器科領域での新規治療薬の紹介とともに新薬が患者さんに届くまでの治験や臨床研究について紹介します。

### 申込方法

- 本学ホームページ内の「公開講座お申し込み」フォームに必要事項を入力してください。
- 申込締切後、受講に関する案内メールをお送りします。

※ 個人情報の取扱いについて

この「公開講座お申し込み」フォームに記入された個人情報につきましては、本学が責任をもって管理し、公開講座に関する連絡以外には使用いたしません。

「公開講座のお申し込み」  
フォームはこちら



### 備考

- Zoom の操作方法・設定についての問合せには対応できかねます。
- 動画録画・録音は禁止します。
- 申込受付後、公開講座の Zoom URL 等をメールでお知らせします。
- 公開講座の URL (及びルーム ID・パスワード) を第三者に教えること及び SNS 等インターネット上に掲載することは禁止します。
- 講義中の雑音・ハウリング発生防止のため、受講者は、質疑応答等の必要な場合を除き、PC・タブレット等端末の音声入力をミュートにして聴講してください。
- 受講中のカメラ設定はオフのまま聴講し、質疑応答等必要な場合は適宜オンにしてください。